

平成 29 年（2017 年）6 月 5 日

## 6 / 1（木）より TRC 図書館スタッフ 7,000 名の制服を刷新

図書館流通センターでは、TRC が運営受託する全国 510 の図書館（※）で働く図書館スタッフ約 7,000 名について、6/1（木）より制服を刷新しました。新制服デザインは「リバープロジェクト」（東京都港区）が組織する「全日本制服委員会」とのコラボレーションで制作しました。今後は首都圏から順次、全国の TRC が受託運営する図書館にて新しい制服へ切替を行う予定です。

（※：指定管理者館が 340 館、業務委託館が 170 館／2017 年 4 月 1 日時点）

TRC の新制服は、これまで培ってきた図書館総合支援企業としての実績に加え、さらに「おもてなしの精神に基づくサービス面の向上」を狙うとともに、「地域に根ざし、より開かれた、親しみやすく便利な、知の集積地としての図書館」を支える図書館スタッフの意識向上を狙い、これまでのジップアップベスト型からジャケットスタイルへとリニューアルしました。

新制服のデザインは、「人類が地球に生き残るため」をテーマに、新たな価値とモノの創造、さまざまな社会貢献活動を行う株式会社リバープロジェクト（本社：東京都港区、代表取締役：伊勢谷友介）が発足した『全日本制服委員会』の「日本の制服を環境に配慮された『エシカル素材』で製作し、再資源化できるシステム」に共感し、制服の制作プロデュースを依頼しました。同プロジェクトでは伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡藤正広）と協業し、繊維メーカーと協力しながら、エシカル素材の制服の制作プロデュースを行っています。制服のデザイナーは、感度の高いデザインで、さまざまな業界とのコラボレーション実績を持ち、国内外から人気のブランド「mintdesigns」に依頼しました。

### ■ TRC 図書館スタッフの新制服デザイン



© Kazuki Nishiyama

機動性の高いニット素材のライトグレーのジャケットには、「図書館目録カード」にインスパイアされたオリジナルプリントを施し、格式の高さに親しみやすさを加味。ポロシャツは TRC のコーポレートカラーを基調としながら、mintdesigns らしいコンパクトなシルエットに、ブランドを象徴するワックススタンプ風の刺繍ワッペンを採用しています。素材についてはいずれも再生ポリエステル糸を織り込み、これから TRC が担う企業としての環境意識を反映させています。

## ■ リバースプロジェクトについて (www.rebirth-project.jp/)

「人類が地球に生き残るためにはどうするべきか？」という命題のもと、私たち人間がこれまでもたらした環境や社会への影響を見つめなおし、未来における生活を新たなビジネスモデルと共に創造していくために活動。代表・伊勢谷友介のもとに、様々な才能を持ったアーティスト・クリエイター・プロデューサーが集結。2009年に株式会社リバースプロジェクトを設立しました。衣<HATCH YOU>、食<HOUSE475>、住<THE SPIKE SHOW>をはじめとし、教育・芸術・支援といった社会生活を営むうえで必要とされる分野での活動をクリエイティブな視点から考察・実行しています。

## ■ 伊藤忠商事株式会社について

伊藤忠商事株式会社（以下、伊藤忠商事）は、1858年伊藤忠兵衛が麻布の行商で創業したことにはじまり、一世紀半にわたり成長を続けてきました。創業から150年を超える今も、初代伊藤忠兵衛をはじめとする近江商人が提唱した「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神を受け継ぎ、企業理念「豊かさを担う責任」へと発展させ、世界のビジネスの現場で実践しています。

伊藤忠商事は、この度の全日本制服委員会発足にあたり、繊維カンパニーファッションアパレル第一部機能衣料課を通じ、企画・提案、素材開発、生産、そしてIT化された物流システムから構成される、総合商社ならではの広く深みのあるネットワークを駆使しながら、企業向けユニフォームに関するトータル・ソリューションを提供します。

## ■ 株式会社図書館流通センターについて

図書館流通センターは1979年の創業より図書館向け書誌データベース（TRC MARC）の作成・販売、図書館向け装備付図書等の販売を行っております。情報化社会の進展に伴い、図書館もシステム化され、弊社が作成する書誌データも電算化の流れに乗った結果、全国でも唯一の図書館専門流通業として発展してまいりました。1996年からは公共図書館の一部業務委託を受託し、その後2005年からは地方自治体法の改正に伴い、指定管理者制度を導入した図書館での運営・管理も行っております。データベースから物流、図書館運営の3本柱をもとに、ワンストップで図書館を支援する体制を整えてまいりました。

現在では少子高齢化の問題や、地方創生推進の機運に伴い、全国の自治体が図書館に求めているものも多様化しております。図書館流通センターでは、民間ならではの迅速な対応や柔軟な各種連携事例をもとに、地域の課題が解決できる図書館や、図書館を使った「まちづくり」のご提案など、さまざまな図書館のかたちをご提案しつづけてまいります。